

交通安全かわら版

第
125
号

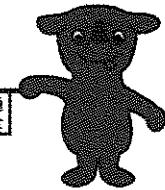
千葉県自動車販売交通安全推進協議会
(千葉県自動車販売店協会・千葉県軽自動車協会)

2024年3月29日発行

令和6年 春の全国交通安全運動(4月6日~15日)

スローガン ~ 挙げる手を やさしく見守る 横断歩道 ~

【運動重点】



チーバくん

- 子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- 「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」社会環境の醸成



なれた街
いつもの道でも
みぎひだり

千葉県自動車販売交通安全推進協議会
(自動車販売店協会・軽自動車協会)

データ (3月17日現在)

○交通死亡事故全国ワースト1位

県内の交通事故発生状況

区分	本年累計	1日当たり
発生件数	2,475	32.1
負傷者数	2,919	37.9
死者数	29	0.4

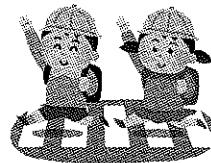
死者の多い都道府県 (単位:人)

順位	都道府県	死者数	前年比
1	千葉	28	±0
2	愛知	27	+2
3	兵庫	25	+8
3	東京	25	+6
5	大阪	22	-13
6	福岡	21	-3
7	広島	19	+2
7	神奈川	19	-5
9	茨城	17	-4
10	静岡	15	+7

子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践

【推進事項】

- 歩行者の安全の確保
 - 通学路や生活道路における見守り活動、交通安全施設の点検確認の実施
 - 「キラリアップ☆しば」による反射材の着用と効果を理解させる交通安全教育
キ:危険を回避、ラ:ライトアップ、リ:リフレクターやLEDライト
 - 違法駐車の危険性、迷惑性の周知・啓発
- 歩行者の交通ルール遵守の徹底
 - 「横断歩道を渡る・信号に従う」などの基本的な交通ルール周知・啓発
 - 「手を挙げる、運転者に顔を向ける」など横断意思の明示
 - 「安全を確認してから横断する、横断中も周りに気を付ける」など安全確認の徹底
 - 日常生活や教育現場における保護者や教育関係者による交通安全教育
 - 高齢者自身に身体機能の変化を理解してもらい、安全な交通行動を促す交通安全教育



信号機のない横断歩道における車の一時停止状況全国調査 (2023調査結果・J A F)

①長野	84.4%	⑪愛媛	58.5%	⑯鳥取	50.0%	⑩東京	39.6%	⑭神奈川	29.1%
②石川	76.4%	⑫福岡	58.1%	⑰広島	48.5%	⑬香川	39.1%	⑮北海道	29.0%
③栃木	74.8%	⑯岩手	56.2%	⑮山口	48.5%	⑪埼玉	38.9%	⑯茨城	27.6%
④熊本	66.1%	⑭山形	53.6%	⑭奈良	48.1%	⑯徳島	36.7%	⑮福井	26.7%
⑤岐阜	65.4%	⑮島根	53.0%	⑯岡山	47.8%	⑮高知	35.3%	⑭大阪	26.7%
⑥静岡	63.9%	⑯秋田	52.1%	㉑青森	47.4%	㉑京都	34.6%	㉒佐賀	26.2%
⑦宮崎	63.6%	㉒兵庫	52.0%	㉒滋賀	46.3%	㉒千葉	31.9%	㉒新潟	23.2%
⑧愛知	61.2%	㉓宮城	51.9%	㉓鹿児島	42.8%	㉓大分	31.1%	全国平均	45.1%
⑨山梨	61.0%	㉔三重	51.3%	㉔長崎	42.5%	㉔沖縄	31.1%		
⑩福島	60.8%	㉕富山	50.0%	㉕群馬	41.1%	㉕和歌山	30.1%		

「ゼブラ・ストップ活動」とは

横断歩道上における歩行者の優先義務を運転者に徹底し、横断歩行者の保護等を強化することを目的に実施している活動です。



- ①「ゼ」→「前方」をよく見て運転、横断歩道に十分注意
- ②「ブ」→横断歩道の手前では「ブレーキ」操作で安全確認
- ③「ラ」→横断歩道でも3(サン)・「ライト」で交通事故防止
- ④「ストップ」→横断する歩行者がいたら、確実な「ストップ」、交通事故を「ストップ」

千葉県自動車販売交通安全推進協議会は70社の自動車ディーラーで構成されています。安全で楽しいカーライフをお届けするために、車の販売と同時に交通安全思想の普及にも積極的に取り組んでいます。『交通安全かわら版』は、その思いを伝えるメッセージです。

本日はご来店ありがとうございました。またのお越しをお待ちしております。

- * 千葉県自動車販売交通安全推進協議会の会員各社では、セーフティアドバイザーによる交通安全ワンポイント・アドバイスを行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

店名